

夏の特設展 紹介

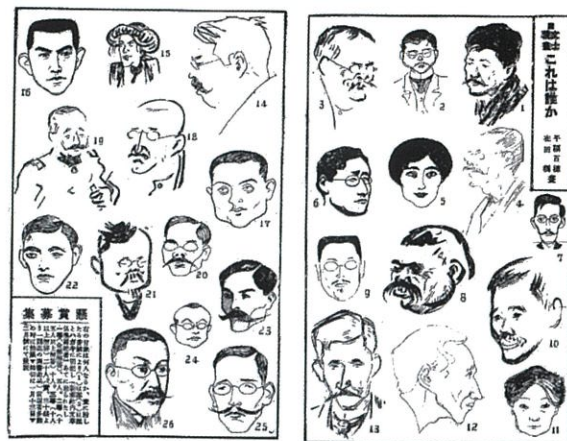
「大正の〈文豪〉ブーム

～『文章倶楽部』のメディア戦略～

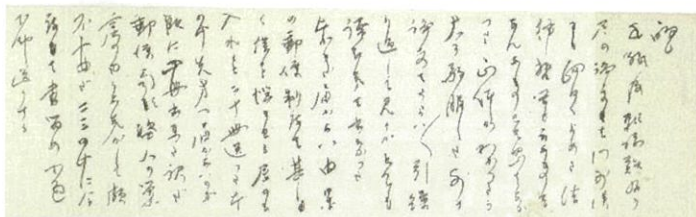


「顔(二)谷崎潤一郎氏」
(大正9年3月)

昨今、近代作家をイケメン化した漫画やゲームの影響から、〈文豪〉ブームが生まれている現象に注目し、ブームの源流をたどります。明治期には、物故していた尾崎紅葉や樋口一葉などが雑誌で文豪と位置付けられ、大正期には、文芸雑誌『文章倶楽部』(大正5年創刊)が戦略的に作家の写真を多用し、アイドル的な存在となっていました。谷崎や芥川らがどのようにイメージ化されていたか、当時の雑誌から浮かび上がらせます。



「文士漫画 これは誰か」(大正6年1月)



芥川龍之介自筆書簡(恒藤恭宛、大正9年4月28日)
大阪市立大学学術情報総合センター蔵



久米正雄 菊池寛 芥川

「文壇漫画」(大正9年3月)

—マスク物語—

スペイン風邪の予防にマスクをする芥川ら

通常展 紹介

谷崎潤一郎・人と作品

谷崎潤一郎は明治19(1886)年東京に生まれ、20代半ばで文壇にデビューします。以後、昭和40(1965)年に生涯を閉じるまで約半世紀にわたり、激動の社会情勢に流されることなく独自の世界を描き続けました。その潤一郎の人物と作品を、生い立ちから晩年にわたって紹介します。



夏の特設展関連講座

つくられた〈文学〉

—投稿雑誌『文章倶楽部』における作家イメージ—

『文章倶楽部』の投稿雑誌としての側面と誌面構成に注目しながら、読者にどう働きかけたか、版元である新潮社の動向と合わせて講義します。

日 時：7月31日(土) 14:00～15:00
場 所：芦屋市立美術博物館・講義室
講 師：日高佳紀氏(奈良教育大教授)
定 員：40名(要予約)
受講料：1,000円(谷崎館入館料込み)
(美術博物館をご観覧の場合、別途観覧料が必要です)



同時開催 ロビー展

★桂木朝子展

マーレングラスリッツェン

「中世ヨーロッパで愛されたガラス装飾」

6月12日(土)～7月17日(土)

一日体験講座 ① 6/20(日)14:30～16:30
② 7/6(火)13:30～15:30

受講料：700円 定員：各回6名

材料費：ダイヤモンド針2,420円、ホルダー550円、ガラス530円、
ハイミロンシート300円



★フルタミチエ絵画・陶展 「余白は うたう」

7月20日(火)～9月5日(日)

ワークショップ(ぬいぐるみ創作体験講座)

日時：7月31日(土) 13:00～15:00

受講料：1,500円 定員：10名(12歳以上)

持ち物：フリースカーセーター(目の詰まったもの)、
裁縫セット、布切りばさみ



◆どちらのロビー展も入館料のみで観覧いただけます。

※参加者の方の個人情報は個人情報保護法及び当館を運営する小学館集英社プロダクション
共同体の個人情報取り扱い方針に基づき厳重に管理し、適正に取り扱います。

※新型コロナウイルスの感染予防のため、マスクの着用をお願いいたします。

夏のごども講座

「文学館を探検しよう！」

見て・聞いて・レポート作り

日時：8月8日(日) 10:30～11:30

対象：小学生(3年～6年生)

定員：10名(要予約)

場所：芦屋市谷崎潤一郎記念館館内

受講料：200円(材料費)

(保護者付き添いの場合は、1名のみ入館無料)

◆学芸員さんのお話を聞きながら、文学館の中やお庭、
バックヤードを探検しよう！最後にレポートにまとめ、
認定書もらおう。(夏の自由研究にお役立てください)

芦屋市谷崎潤一郎記念館

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12の15
TEL 0797 (23) 5852 FAX 0797 (38) 3244
メール ashiya-tanizakikan@shopro.co.jp
ホームページ <https://www.tanizakikan.com>